

H24年度さいたま市立ひまわり特別支援学校グランドデザイン

○児童生徒の実態

- ・明るく人との関わりを好む。
- ・体調が不安定な児童生徒が多い。
- ・医療的ケアを要する児童生徒もおり実態差が大きい。

○保護者の願い

- ・実態差に応じたきめ細かな教育
- ・将来の社会参加を見据えた教育
- ・肢体不自由教育の高い専門性
- ・医療との連携による安心・安全な学校

学校教育目標 かがやく子—今も未来も—

ゆめをもち、未来を切り拓く、さいたま市の子ども

目指す児童生徒像

- ・明るい子（豊かな情操）
- ・元気な子（丈夫な体）
- ・学ぶ子（自ら取り組む意欲）

- ・一人ひとりの持てる力を伸ばす教育の推進
- ・卒業後の自立と社会参加に必要な力を養う教育の推進
- ・豊かなかかわりあいを大切にした教育の推進
- ・安心・安全に支えられた学びの保障
- ・体を意識し、主体的に体を動かす意欲の伸長

目指す学校像

「認め合い、学びあい、育ち合う学校」

楽しい学校 (児童生徒)
情熱

- 学校に来ることが楽しい
- 友だちとのふれあいが楽しい
- 授業や行事が楽しい
- いろいろな経験ができる

安心できる学校 (児童生徒・保護者)
信頼

- 安全で安心してすごせる
- 安心して子どもを預けられる
- 何でも信頼して相談できる

やりがいのある学校 (教職員)
働きがい

- 指導力と専門性が着実に向上する
- 子どもの確実な伸びが見てとれる
- 組織の一員として仕事ができる
- 教職員間の連携・意思疎通が円滑である

特別支援教育をリードする学校 (さいたま市)
気概

- 特別支援教育に関わる人材を育てる
- 特別支援教育の推進に協力する
- センター的機能を高める

1 一人ひとりの実態に応じた教育課程の編成・実施

2 豊かなかかわりあいを大切にした教育の推進

3 12カ年を見通した教育の充実

4 特別支援教育の専門性および指導力の向上と教員養成

5 安全で安心して学校生活を送ることができる学校づくり

6 学校の理解促進と地域支援による開かれた学校づくりの推進

7 教職員事故の防止の徹底

8 校名変更と開校30周年の年にあたり、今後の本校のあり方を検討